

様式第4号 (第5条関係)



政務活動費収支報告書

令和5年4月3日

(あて先) 飯能市議会議員

議員氏名 加涌 弘貴

飯能市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項の規定に基づき、下記のとおり令和4年度の政務活動費収支報告書を提出します。

1 収入 政務活動費 180,000円  
2 支出 180,185円

(単位:円)

| 科目       | 金額      | 備考                         |
|----------|---------|----------------------------|
| 調査研究費    |         |                            |
| 研修費      | 4,080   | 自治体・公共Week2022 交通費         |
| 広報費      | 135,000 | 議会報告書 8,000部(新聞折込代含む)      |
| 広聴費      |         |                            |
| 要請・陳情活動費 |         |                            |
| 会議費      |         |                            |
| 資料作成費    |         |                            |
| 資料購入費    | 27,901  | ゼンリン地図 (飯能市)               |
| 人件費      |         |                            |
| 事務所費     |         |                            |
| その他の経費   | 13,204  | セキュリティソフト、タブレット電源コード、コピー用紙 |
| 合計       | 180,185 |                            |

3 残額 0円

- (注) 1 備考欄には、支出の内訳を記載すること。  
2 領収書その他支出を証する書類の写しを添付すること。  
3 政務活動費収支報告書に係る政務活動事業実績報告書を添付すること。

政務活動事業実績報告書

議員氏名 加涌 弘貴

飯能市議会政務活動費の交付に関する規則第5条第2項の規定により、令和4年度政務活動費に係る事業実績報告書を次のとおり提出します。

| 月 日                   | 事業名                | 事業概要及び成果等  |
|-----------------------|--------------------|--|
| 6月29日(水)～<br>6月30日(木) | 自治体・公共Week<br>2022 | <p>6月29日、30日の両日、東京ビックサイトで行われた自治体・公共Week2022の無料セミナーに参加した。講演内容は、1「ポストコロナにおける地方創生の取り組み、デジタル田園都市国家構想について」講師はデジタル田園都市国家構想担当大臣 若宮健氏 2「ゼロカーボンシティ実現への取り組み、脱炭素の取り組みで進める地域の活性化」講師、環境省地域脱炭素推進総括官 上田康治 3「スマートシティ最前線」講師、経済産業省製造産業局自動車課ITS自動走行推進室長 福永茂和氏 の3つのセミナーを受講した。デジタル技術を活用した公共交通自動運転化やドローンによる山間地域での物流配送の実用化、脱炭素社会に向けての2050年のゼロカーボンシティに向けての地域の取り組み、医療Massによる遠隔医療の取り組みなど、人口減少、少子高齢化、産業の空洞化による地方が抱えている不便、不利、不安の課題解決策として具体的な事例や活用できる国の交付金の紹介があった。</p> <p>IT技術、DXが進展する中で、国家戦略として国が推進している公共政策や各自治体の地方創生に向けての最新事例を、国の政策立案に直接携わる立場にある講師によるセミナーは、山間地域での多くの課題を抱える飯能市において地方創生の新たな政策立案をする上で大変参考になった。また、当時にDX・デジタル技術、自動運転、ネットワーク、脱炭素ソリューション、防災対策、地域観光振興に取り組む先進企業約260社が出展し、先進事例を学んだ。</p> |

(注) 使途基準の項目別に記載すること。